

第4次計画 パブリックコメント実施結果 内容と教育委員会の考え方

意見①	<p>デジタル化が進む中で電子書籍やオーディオブックの活用など時代に即した読書環境の整備をより充実させてほしいと考えます。また、家庭、学校、地域が連携した取り組みや中高生向けの読書活動の充実を図ることで子どもたちが生涯にわたって読書に親しめる環境づくりを期待します。[該当ページ P8～P11]</p>
図書館の見解	<p>現在、遠賀郡4町で共同運営している遠賀郡広域電子図書館の児童向け資料を小中学校でも活用できるよう準備を進めているところです。また、第4次計画においても、第3次計画同様に、中高生向けの資料(YA資料)の充実や学校司書を通じた学校図書館との連携などに取り組んでまいります。</p> <p>なお、「3. 取り組みの主体別の方策」の中でそれぞれ触れているため、改めて文章での追加・修正はしません。</p>
意見②	<p>ゲームやスマホに勝る魅力があれば、子どもたちも自然と読むだろう。その魅力を知る「きっかけ」を作してほしい。[該当ページ P8～P11]</p>
図書館の見解	<p>館内の児童コーナーでは、常時、おすすめの本やテーマ別の展示などを行っています。また、図書館に来るきっかけづくりとして、子ども読書週間や夏休みには、子ども向けの催しを行っています。今後も子どもの読書への関心と意欲を高めるよう取り組みを進めてまいります。なお、「3. 取り組みの主体別の方策」の【町立図書館】③④⑦などに含まれていると思われしますので、改めて文章での追加・修正はしません。</p>
意見③	<p>Little Free Library を水巻でもしたらいいんじゃないですか？興味を持つきっかけに十分なりえるかと。[該当ページ 無記載]</p>
図書館の見解	<p>Little Free Library (リトル・フリー・ライブラリー) は2000年に入ってから、アメリカで始まった活動です。郵便受けのような本棚を設け、中の本を自由に借りて、自由に返すことができるというもので、個人の活動として、設置、管理されています。</p> <p>図書館でも、利用しなくなった本を自由に持ち帰っていただくリサイクル本コーナーを館内や町内の公共施設に設けており、Little Free Libraryに近い役割を担っていますが、一般的な Little Free Library を図書館が行う場合、公共財産にあたる本の維持管理等の面で難しいと考えます。しかしながら、活動の周知など協力できる点も多いと思われしますので、ご意見を直接計画に取り入れることはいたしません。子どもの読書環境の充実のための手法のひとつとして承り、今後の課題とさせていただきます。</p>